

単元名 マット運動

日 時：平成29年5月17日～5月31日

場 所：和歌山市立中之島小学校 体育館

学 級：3年2組 24名（男子13名 女子11名）

授業者：松本悠希江

こんな授業に・・・

運動のおもしろさを“身体を支えたり転がしたり投げ出したりしても立てるかどうか”ととらえ、回転技と倒立技を通して、一人ひとりが進んで運動に取り組み、友達と関わり合うなかで認め合い高め合う集団を目指した。

SD 課題・・・ずっと立ち上がろう

AD 課題・・・きれいにずっと立ち上がろう



○感覚づくりの運動

技カードを見ながらグループで学習を進める。(動物歩き・背支持倒立・ゆりかご・かえるの足うち)お互いの動きを見合って、気付いたことは声を掛ける。

回転技の練習に取り組む

前転 → 後転 → 開脚前転
→ 開脚後転



倒立技の練習に取り組む

壁のぼり倒立→壁倒立→簡単な倒立技
腕立て横跳び越し→側方倒立回転

場の工夫・教具

技カードにポイントを示し、見比べながら活動できるようにした。

坂をつけたマットや細いマットを用いた。

安全マットを用いて簡単な倒立技に取り組んだ。

タブレット端末を用いて録画や遅延アプリを使用して、自分の動きを振り返った。



1 時間目

～感想・次々のめあて・気をつけるところ・見てほしいところ～ ワークシートより

- ・前転で首が痛かった。
- ・前転で顔をお腹にむけて、足先をピンと立てて最後は手を前にする。最後は手を前にする。次は顔がお腹のほうになっているか見てほしい。

2 時間目

～きりり☆さんを見つけよう～

- ・Aさんが腕立て横跳び越しで、足がきっちりあがっていた。
- ・Rさんが前転ですぐに立てていて、すごかった。
- ・ぼくがMさんに「あし閉じなよ」と言ったら、がんばってあしを閉じるようにしていたのでがんばったと思います。
- ・Kさんがしっかりおなかのほうに顔をむけていたので、お手本のようにになりました。
- ・Rさんは前転のときに、まっすぐ回れていたのいいなと思いました。

授業を通して（成果・課題）

- ・一時間の学習のなかで回転技と倒立技に取り組む時間を設定したことで、子どもたちは長期的にそれぞれの技に挑戦し続け、少しずつ技が上達した。
- ・単元前半では、技の行い方やポイントについて知り、グループでお互いの動きを見ながら気づいたことを伝え合うなかで課題を見つけていた。
- ・場に1枚の技カードを設定し、友だちの動きと見比べて「勢いは十分あるから、他の場で練習したほうがいいと思うよ」と声をかける様子が見られ、課題に応じて練習方法や場を選んで活動することができた。
- ・タブレット端末を用いての遅延カメラ設置や録画を行った。その場で確認するだけでなく、教室に戻ってからもお手本となる動きと自分の動きを見比べることで「次は、もっと頭を中に入れてやろう」と呟いたり「早くマットやりたい」と意気込んだりしていた。
- ・単元に入る前の体育意識調査で「転がるときに頭がいたい」という理由でマット運動が「どちらかといえば嫌い」と答えた児童は、友達にアドバイスや手助けをしてもらいながら、苦手な後転に何度も挑戦することができた。
- ・倒立では、マットと安全マットの高低差があったため、高低差を縮めることで安全性を高めたい。